

2022年1月26日

各位

株式会社北都銀行

令和3年度新エネ大賞「資源エネルギー庁長官賞」受賞について

株式会社北都銀行（頭取 伊藤 新）は、一般財団法人新エネルギー財団が主催する令和3年度新エネ大賞の導入活動部門において、「資源エネルギー庁長官賞」を受賞（資源エネルギー庁長官賞の受賞は地方銀行初）いたしましたのでお知らせします。なお、弊行が脱炭素及び再生可能エネルギーの取り組みにおいて、表彰を受けるのは3度目※となります。

記

1、新エネ大賞について（新エネルギー財団ホームページより）

新エネ大賞は、新エネルギーの一層の導入促進と普及及び啓発を図るため、新エネルギーに係る商品及び新エネルギーの導入、あるいは普及啓発活動を広く募集し、そのうち優れたものを表彰するものです。



2、受賞案件

資源エネルギー庁長官賞

『地域の再エネ導入拡大に向けた北都銀行の挑戦』

3、選定理由（一般財団法人新エネルギー財団より）

風況に恵まれている地元の強みを生かして、地方銀行である北都銀行が先見的に金融支援を行い、地元風力発電事業会社の設立を実現。現在、国内でも最大規模となる風力発電所（22基 66MW）が運転開始している。北都銀行は、プロジェクトファイナンスのアレンジャーとして、また地銀のフロントランナーとして、県内の再エネ導入を積極的に支援。プロジェクトファイナンス実績は23件 940億円（うち北都銀行引受額 332億円）となっている。

大規模な風力発電事業を、地銀が先導してプロジェクトファイナンスにより地元企業を主体として実施している。事業会社への出資を通じたノウハウ、ネットワーク構築など地銀のビジネスモデルとして高く評価された。

※ご参考（受賞歴）

- | | | |
|-----|-------------|---------------------------|
| 1回目 | 2017年10月27日 | プラチナ構想ネットワークプラチナ大賞「優秀賞」受賞 |
| 2回目 | 2018年3月8日 | 環境省 21世紀金融行動原則「環境大臣賞」受賞 |
| 3回目 | 2022年1月26日 | 本件 |

※ご参考（取り組みの概要）

1. 弊行は、秋田県の持続的な発展に向けて、地域の資源である風力による発電を秋田県の新産業に発展させ、地域経済エコシステムの構築を目指している。2012年には、従来県外大手企業が進めていた秋田県の風力発電事業を、地元企業の手で主力産業に育てることを目的に、地元企業と連携し、風力発電事業会社『株式会社ウエンティ・ジャパン』を設立。同社は、弊行のプロジェクトファイナンス等の金融支援の下、秋田県内を中心に風力発電所の開発実績を積み上げている。2020年5月には、国内でも最大規模となる22基66MWの風力発電所「秋田潟上ウインドファーム」の運転を開始。
2. 弊行のプロジェクトファイナンスの実績は23件940億円（うち当行引受額332億円）。東北地銀のフロントランナーとしてプロジェクトファイナンスの手法により、秋田県内の再エネ導入を積極的に支援している。また、2021年3月期の再エネ融資残高は617億円、事業性融資残高に占める再エネ融資残高の割合は約15%となっており、地方銀行の中ではトップレベルの水準にある。
3. また、2021年1月には、秋田県を脱炭素の先進県として発展させることを目的に、『北都グリーンアクション』戦略を始動。第一弾の取り組みとして、地銀および県内企業としては初めて「再エネ100宣言 RE Action」に参画。2050年までに使用電力の100%を再エネとすることを目標に掲げている。目標達成に向けては、秋田県の水力発電所の電力や秋田潟上ウインドファームの電力（みんな電力のブロックチェーン技術により特定）を活用し、県内再エネの地産地消を先頭に立って取り組んでいる。
4. 現在は、再エネ事業支援に加え、お取引先の脱炭素化支援や啓蒙活動に全店を挙げて取り組んでいるほか、再エネ産業化に向けたサプライチェーン検討・調査も推進中。上記グリーンアクションは、これまで9つの施策を展開している。



以上

《本件に関する問い合わせ先》
 営業推進部 地方創生室（担当：佐藤）018-837-1701